

松蔭 GP 「被災地に身を置くことから始めよう」

～ 参加者募集 ～

君が大人になった時、後の世代から必ず問われるだろう。

「あのころ、どうしていたの？」と・・・(立教新座中学・高等学校 渡辺憲司校長のメッセージより)

東日本大震災と同時代に生きている皆さん、被災者や被災地の復興のために、小さくても何か役に立つことができればと思っているのではないのでしょうか？そうした思いを現実に見してみませんか！

この夏、8月27日(月)～30日(木)に、宮城県仙台市・周辺地域の被災地訪問とボランティア活動のプログラムを実施します。「あのころ、どうしていたの？」という問いに答える「なにか」を一緒に探しに行きましょう！ふるってご参加ください。

日時: 8月27日(月)～30日(木) 3泊4日

交通手段: 大阪(伊丹)空港 = 仙台空港(往復飛行機利用) その他、公共交通機関など

宿泊予定地: 青葉静修館(宮城県仙台市青葉区)、室根聖カタナエル教会(岩手県一関市)

内容: 8月27日(月) 9時頃: 大阪(伊丹)空港出発 午後: 仙台市周辺視察およびオリエンテーション&開会礼拝

8月28日(火) ボランティア活動 訪問先: 宮城県仙台市および周辺地域

8月29日(水) ボランティア活動 訪問先: 宮城県仙台市および周辺地域

8月30日(木) 振り返りと閉会礼拝、プチ観光 19時頃: 大阪(伊丹)空港にて解散

費用: 2万円(現地交通費および食費を含む。往復航空運賃と宿泊費相当を大学が補助します)

申込方法: 所定の申込書に必要事項を記入の上、**6月29日(金)16時**までに宗教センターに提出すること。個人面談を行い、健康状態などを考慮し、定員10名を上限に参加者を決定します。6～8月に数回、ボランティアの心得やボランティアに行く場所などについての事前研修を行います。これらの事前研修にも必ず参加することが条件です。日程詳細は後日通知します。

大阪(伊丹) = 仙台の往復は団体割引の航空券を利用します。いかなる理由であっても正式申し込み(7月中旬)後にキャンセルした場合は、航空運賃実費(最大¥39,000程度)を負担していただきます。

企画: 宗教センター

松蔭 GP 責任者: 奥村正子(宗教主事)

チャブレン: 小南晃、坪井智

職員スタッフ: 緋田吉也、山科まゆ